サウンドメディア論

K19093　福本光重

• 音環境デザインについて、具体的な事例を調査してまとめる   
・知る区ロードの「みみのオアシス」  
知る区ロードとは、正しくは「杉並知る区ロード」と言い、東京都杉並区における災害時の安全な避難のための「歩いて杉並を知るルートづくり」という目的で作られた散策路である。全長約３６kmで、区内のおもな名所旧跡や公園、区の施設などがめぐれるようにルートが設定され、この道を辿ることで、杉並区全域を周遊でき、区を知ることができる。ルート内には４つのオアシスという休憩スポットがあり、5感を刺激するようなオブジェがある。その中でも、「みみのオアシス」は、サウンドスケープデザインを意識されており、風のうなりや気流の響きをキャッチする。「ぶらさがるみみ」は竹林の中の足音や声、その他さまざまな林の響きを拾う。「かがむみみ」など、７つの「みみ」のオブジェが設置されている。いろんな「みみ」を試しながら耳をすますと、木々の間を抜ける風の音や鳥のさえずりに加え、にぎやかな子供たちの声などが聞こえてくる。

杉並区を巡って自然、歴史を堪能しつつ、オアシスでは5感に刺激を与えて呼び起こして、リフレッシュすることもできる。  
  
みみのオアシス。左から、「かがむみみ」「ひろがるみみ」「みないみみ」  
  
  
  
  
屋外, 道路, ストリート, 建物 が含まれている画像

自動的に生成された説明  
  
• 音のデザインについて、具体的な事例を調査してまとめる   
・音のユニバーサルデザイン化支援システム「おもてなしガイド」（スマホアプリ）  
おもてなしガイドとは、訪日外国人向けの、日本語から各国の言語に翻訳するスマホアプリのことであり、言語や聴力の壁を超えて誰もがアナウンスの音声を理解できるようにするシステムである。

←アイコン

自動的に生成された説明おもてなしガイド対応のお店・サービスのアイコン

このアイコンが目印の公共交通機関や空港などで、アナウンスが流れたときに、おもてなしガイドを利用すれば、各国の言語に翻訳される。

2017年にサービスが開始し、現在では電車、バス、空港、ショッピングモール、テーマパークなどの観光施設などに対応している。

その他にも、フリーWiFiのアクセスポイントや設定方法、避難場所がWiFiなしで確認する機能がある。

・参考文献

すぎなみ知る区ロード（公式サイト）　<http://www.suginami-siruku.org/index.html(2021/1/21>閲覧)

おもてなしガイド（公式サイト）<http://omotenashiguide.jp/>　(2021/1/21 閲覧)